

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日公連鈴木ビル5F
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~totaikou/>

に懇親の実を上げ、本都教育の振興に貢献したい」と時代を見据えた本会の在り方を述べておられます。その玉稿は今も輝きます。また、第五代会長の戸叶直二先生は、第100号の巻頭言で「会報は会員相互の融和親交を促進して会の充実発展に資することを願い、(魅力ある会報)の発行に努力すること」を懇願しておられます。(時の歩みは三重である。未来はためらいつつ近づき、現在は矢のように早く飛び去り、過去は永遠に静かに立っている)と言います。今を生きる我々には、ここに至る先



会報第200号の発行を祝す
—求められ、愛される会報誌を目指して—
東京都退職校長会 会長 多田 丈夫

◇この度、記念すべき会報第200号を発行する運びとなりました。まずは、多年にわたり会報発行にご尽力された会報部並びに関係者に心から敬意を表します。思えば、昭和35年の創刊号から50年の歳月に歴史の重みを感じます。第200号発行を機に本会の風雪65年を省み、新たな時代への力強い一歩を踏み出さねばなりません。初代会長の宮内与三郎先生は、創刊号の巻頭言で「本会は、出身学校の種別や派閥等を超越して、ただ東京都公立学校の退職校長会として結成され、今後も渾然一体となり、互い

ろです。今、春の気配を感じます。窓を開けると庭の梅の花が一輪咲き、忘れていた「花づくし、山茶花、桜か、水仙か、寒に咲くのは梅の花」と都々逸を口遊みました。梅の花言葉は、(厳しい美しさ)や(気品・忍耐)を、山茶花の花言葉は(困難に打ち勝つつたむきさ)であると伝え聞きます。これらの花言葉は平昌五輪でメダルを手にした頼もしい日本の選手に良く似合います。2年後には東京五輪が開かれます。その日を待ち望み、高峰の頂を目指すすべての日本のアスリート達にも梅の花

人からの財産を将来に引き継ぐ努力と責任と使命があります。さらに、会報が東京都退職校長会の機関誌として、多くの関係者に的確な情報を提供しながら、「求められ、愛される会報誌」をめざす必要があります。◇時同じくして、冬の平昌五輪が開催されました。我が国の20代から30代の若きアスリート達が心身の痛みを抱えながら、全てを糧に競い、更なる高みを目指す姿に圧倒されました。その感動的な活躍と筋書きのないドラマに刺激され、(我々も奮起せねば)との思いを新たにしたいとこ

主な記事

- P1 巻頭言 会長挨拶
- P2 定期総会案内、『第1回会員研修会』のご案内
- P3 教育庁幹部との懇談会
- P4 作業部会の委員として
- P5 会報200号記念特集
- P7 会報誌の昔を振り返る
創刊号の表紙と巻頭言
会報誌・題字の変遷
会報第百号の巻頭言・
会章・会歌
- P10 支部だより
- P13 高齢者叙勲受章会員
勲章・褒章制度の概要
- P14 クラブ紹介
- P15 湯島の動静
- P16 物故者
定期総会・研修会案内
編集後記

と山茶花の花言葉を贈り、その成功を願い、惜しめないエールを送りたいと思います。◇この時期、本部では平成30年度の事業計画が進行中であります。これから定期総会、会員研修会、教育フォーラム東京・2018、関ブロ東京大会等々と具体的な事業が展開されます。また、会則改正の準備と会員減少に伴う「覚悟のいる30年度予算」を編成中です。今後とも、本部に対する会員の皆様の一層のご理解とご支援を心からお願ひ申し上げ、祝辞といたします。

平成三十年 第六十五回 定期総会案内

第六十五回定期総会を左記のとおり開催します。

活動に参加し心を通わせ絆を強めましょう。

各支部の役員及び会員多数のご出席を期待します。

○開催日 五月十四日(月)

・受付 一一・三〇

・定期総会 一二・三〇

・会員研修会 一四・三〇

・懇親会 一五・三〇

○会場 東京ガーデンパレス

・JR御茶ノ水駅下車(聖橋口)

・☎〇三―三八―三一六二二

地図は16ページをご参照ください。

○懇親会費 七千円

『長寿・荣誉・功労会員』

への案内

案内状は郵送にてお届けします。総会の席でお祝いと感謝の意を表します。

万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いいたします。

総会・懇親会出席申込方法

○総会のみ参加は会費不要。

○懇親会への参加は四月二十日(金)までに、支部長に連絡し

会費は支部長に直接払い込んでください。

○支部長は、懇親会費を支部で一括して、四月二十七日(金)までに「払い込み取扱票」にて、事務局宛にお振り込みください。

○支部に所属していない地方等の会員の方は、直接事務局までご連絡下さい。

○☎〇三―五八一四―五六一五(まで)

○懇親会費を払い込んだ後に、やむをえず取消された場合は申し出の日によって返金額が異なります。あらかじめご了承ください。

○☎〇三―五八一四―五六一五(まで)

～ 平成30年度『第1回会員研修会』のご案内 ～

東京都退職校長会生涯学習部

平成30年度第1回『会員研修会』を下記の要領で実施します。多数のご参加をお待ちしています。

生き生き人生 元気の出る集い

会員研修会のご案内

『生きる喜びを実践し合う中で』

- ☆ 期 日 5月14日(月) 定期総会終了後
- ☆ 時 間 午後2時30分～3時25分
- ☆ 会 場 東京ガーデンパレス (地図は16ページ参照)
文京区湯島1-7-5 Tel.03-3813-6211
- ☆ 講 師 早稲田大学演劇博物館
解説員 緒方 良子先生
(中野支部 支部長)

「東京都教育庁幹部との懇談会」

―次代の教育界を知るために―

開催日 平成三十年一月三十一日(水)
会場 都庁第一本庁舎 教育委員会室

雪景色に染まる美しい富士の見える都教育委員会室で恒例の東京都教育庁幹部との懇談会が1月31日午前10時から開催された。

冒頭、鈴木正一人事企画担当部長より、日頃の本会の協力体制、委託事業である採用前実践的指導力養成講座・人材バンク事業の実施について賛意と激励をいただいた。続いて、本会を代表し、多田丈夫会長から懇談会開催の御礼と都のご指導・ご支援に感謝の意を伝えた。

一、次期学習指導要領の改訂に伴う現在の取り組みについて

指導部主任指導主事 坂本教喜氏

・今回改訂の方向性は、新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実である。
・未来の創り手の育成として、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。その際、教科等で育

てる資質・能力とは何かを明らかにし、連携する社会に開かれた教育課程を立案する。

・「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の鍵となる見方、考え方をすべての教科にわたって育成していく。
二、東京オリンピック・パラリンピックに向けての教育施策について

指導部指導企画課オリピック・パラリンピック教育調整担当課長 鈴木基成氏

・オリ・パラ教育を都内の公立学校で取り組む。育成すべき資質として、ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚等を目指す。
・東京五輪を契機とし、さらにその先を見据え、計画的・継続的に教育活動を展開する。

三、主権者教育の実際と今後の高校教育の課題について

指導部主任指導主事 小林正人氏

・選挙教育は学校教育全体で取り組む。特に社会科・公民の授業を通し、選挙の意義・制度の学習の一層の充実を推進する。
・小学校段階から地域参画を大切にし、「言語活動の充実」、「意志決定力」等をつけることが重要である。

・選挙年齢を18歳以上とする改正公職選挙法成立。参院選投票率(62.3%)は指導の成果あり。
四、学校の管理職の人材確保と今後の取り組みについて

人事部教職員任用担当課長 相川隆史氏

同 勤労課長 秋田一樹氏
・若い主任層を積極的に育成し、学校運営への参画を促す。管理職の志気や資質能力を育て、副校長の人材不足を解消する。
・目標とする管理職が身近にいたからが受験者の一番の理由。

五、小学校の英語教科化に関する具体的な取り組みについて

人事部人事計画課長 加倉井祐介氏

・移行措置は次年度より実施。
・全面实施で国は授業時数の増加に伴う専科の指導教員確保と加配定数の改善を行う。都も人

的措置の拡充に力を入れる。

六、「学校における働き方改革」に係る緊急提言に伴う都の施策について

総務部企画担当課長 光永功嗣氏

・教師が健康で生きがいをもって勤務し、教育の質を高める取り組みを目指していく。
・勤務実態の調査、タイムカードの導入、部活動指導員の正規採用等、国のガイドラインを受け、都の改善を図っていく。

七、《総合教育会議》の現状について

総務部教育政策課長 曾根 稔氏

同教育政策担当課長 中嶋富美代氏
・法改正に伴い、平27より「東京都教育施策大綱」の策定。
・平28教育管理職の確保等論議
・平29小・高の現状と課題について論議(学力向上、いじめ防止、学校施設・ICT環境等)

以上七項目の質問事項に対し、貴重な最新の資料を基に、懇切丁寧なご説明をいただいた。改めて都教委関係各位に感謝を申し上げます、ご報告とする。

(文責 伊地敦子)

作業部会の委員として

作業部会委員 今井重夫

私は東京都退職校長会の「業務改善・基金検討委員会」の委員に引き続き、「作業部会」の委員も務めさせていただいていきます。検討の回を重ね、議論を進めるにつけ、その責任の重大さを痛感させられています。この作業部会を通して感じていることを述べさせていただきます。

作業部会では、検討委員会の答申を基にしながらも、答申を受けた後、教育フォーラム、各支部からのアンケート結果、支部長会でのご意見などを参考に、多田会長を座長として、今後の退職校長会の充実を見据えて真剣に議論を重ねてきています。

現在東京都公立学校を退職される校・園長のうち、東京都退職校長会への入会率は10数%に過ぎません。この現実、委員の減少や高齢化などと共に本会の存続に関わる最大の課題です。この実態を本会存続の危機

的な現状と捉え、多田会長の意欲的なリードの下で議論がなされてきました。そしてこの現状を直視し、本部と支部が一体となって打開策を探り、決断と実行で乗り越える必要があるとの結論に至りました。その中で直面する大きな課題として以下の2点が挙げられます。

① 会員の所属支部について

この課題は検討委員会でも大きな課題として捉えていました。新会員となられる方達からの支部所属についての質問に、「所属支部は居住地となっている」と伝えると「知らない人しかない居住地の支部所属なら入会はしない」という声が事務局にも寄せられており、我々委員の耳にも多く聞かれています。

しかし、いわゆる「B会員」を持たない都外の支部にとって、は会員確保に致命的な打撃とな

るのではないかと。今回の改革に提案すべきかどうか真剣な議論が交わされました。しかし、苦渋の選択ではありましたが、より多くの会員確保には所属支部の選択制は欠かすことのできない重要な内容であるとの結論に至りました。ご理解を頂きたい思います。

② 準会員制度の導入について

全国道府県の公立学校・園長退職者の退職校長会への入会率は、殆ど100%に近いのに比べ、東京都では20%にも達しないという現実をどう解決したらよいか。検討委員会の答申である「退職後再任用等で勤務する数年間を準会員とする」との内容は小手先の策に過ぎず、根本的な解決には至らないと思われる。会長からも思いきった改革が必要であるとの強い意志が示され、「現職校・園長を準会員とする」という大胆な改革なくして会員確保の方策は無い、との結論に至りました。この実現

には、先ず現職校・園長に本会の存在をいかにして認識して頂き、了解を得て行くかと言う大きな課題があります。具体的の方策については今後の課題となりますが、本部の啓蒙活動提示と実行はこの改革の成否を左右する重い責任となります。そして各支部においても本部と足並みをそろえ、共に会員確保にあらゆる努力を惜しまない賛同が必要と思います。本部と各支部が一体となって是非ともこの制度を実現して頂きたいと思っております。

以上2点の他にも本部と支部とのより密接な関わりなど、幾つかの改革を提示してありますが、それらの多くは従来の活動の内容や組織を現実的な方向に整理したものであります。

去る1月22日の支部総会ではこれらの内容を盛り込んだ会則の成案をお示しすることが出来ました。作業部会はまだ作業半ばですが、部会の一員としての思いを述べさせていただきました。

会報二〇〇号記念特集

懐かしい会報部編集会議

太田 秀

平成十三年から事務局で本会の手伝いをしていたので、会合の資料づくり・交通費・関係者の連絡等で部会の忙しきおもしろい懐かしい。

家の戸棚整理をしたところ「会報部編集会議」がクリヤーファイルに収まっていた。そこには会報部員名簿、年度の編集会計画、発行号十六ページの割

付け案などが綴じられていた。

当時の桑原輝雄部長は『会報にカンフルを』の題で「本会の目的の一つに会員の親睦交流がある。会報は唯一の情報伝搬の使命がある。魅力ある紙面の創造に懸命である」と意見を述べ編集後記のほかにも紙面を利用して魅力ある会報を求めていた。『校正畏るべし』だけに神経を使う会報編集では不可欠というのである。私も特設コラム「事務局だより」をつくつてもら

平成16年度 会報部編集会議 都退職校長会

●会議の司会進行は部員輪番制
【始】1.担当副会長挨拶 2.部長から仕事説明他 3.作業開始宣言
【終】1.部長から 2.事務局長 3.副会長挨拶 4.終了宣言

第145号	第146号	第147号	第148号
(監) ⑤5/26(木) 河村	(監) ⑧8/25(木) 大塚	(監) ⑪11/17(木) 神山	(監) ②2/2(木) 小川
⑥6/30(木) 加藤	⑨9/29(木) 青木	⑫12/22(木) 藤元	③3/3(木) 大久保
⑦7/07(木) 大内	⑩10/6(木) 田村	⑬1/12(木) 加藤	④3/9(木) 青木
⑧7/14(木) 小川	⑪1/13(木) 高山	⑭1/19(木) 大内	⑤3/16(木) 田村

- ① 第1回 割付けと担当決め、原稿依頼作業、投票
- ② 第2回 原稿の校正
- ③ 第3回 印刷初校校正
- ④ 第4回 最終校正

※最終校校正終了の複写を各自割り当て分を持ち帰り、再度、自宅にてじっくり読み、何か発見したり、疑問を部長に至急連絡する。

☎ 0424 (81) 6766

※内容等確認事項

- ◇支部だより⇒毎号5～6支部 区、市、島、近県別バランス調整
- ◇フォーラム・トピックス・つぶやき欄・文芸欄の執筆を推薦する。(該当者が見つからない時は、部員で埋めることになる)
- ◇編集後記は部員が輪番で書く
- ①45号(加藤) ①46号(藤元) ①47号(大内) ①48号(小川)
- ◇会報部としての反省会・懇話会は適宜企画実施(提案は部長)

い、都民互助会のことや学校週五日制の私見等を載せた。反省会と称して部員たちと飲み屋での発散をしたことを懐かしんでいる。

会報二〇〇号を祝して

片岡敦子

会報二〇〇号の発行おめでとうございます。会報は年四回の発行ですから、二〇〇回になるには長い年月を要したと言えます。本会の事務局には会報一号からファイルされた冊子があります。その中から無作為に会報を取り出し読むと、その時々々の運営が如実に分かります。各号共に、会報に係わった方々は、会報の使命を自覚し、編集を行っていらっしやる心が読み取れ、お礼を申し上げたい心情になります。

本部役員に私は十二年関わりましたが、その間の課題は、常に会員減少に伴う事業の見直しでした。会議開催の回数を減らしたり、各部の事業を、経費節減のため規模を縮小したりしました。その中で、唯一縮小しなかったのは会報事業です。それは会報の使命「会に関する情報

を会員はもとより、教育関係者に発信すること」と捉え、本会の発展には現状を維持することが重要と全会員が認識していたからです。また会報部員の方々は、会報の使命を踏まえ内容を検討し、確かな方針の基に編集された会報の発行に尽力し、会員はもとより、教育関係者から高く評価されたからです。

当時、IT時代到来に伴い、ホームページでの情報発信も導入しましたが、会報への期待は大きかったと断言できます。

一 会員の今、私は会報を通して会の現状や活動の様子を知ることが出来ます。また、会員の動向も知りえますので、会員相互の意思疎通も図れています。私は会報を読むと、組織に対する所属意識が高まり、会員としてのモチベーションアップになっていると感じています。

今後、本会のプランディングの一環として、広報ツールの充実発展を願っています。

——卒寿街道 道しるべ—— 会報で人生を振り返る

桑原輝雄

私が会報部に所属したのは平成17年頃だったと思う。

当時調布支部から理事会に2名が生涯学習部員として所属していた。功績が認められた結果だった。交代期に私が継いだ。規定通りに戻り、妙な期待感が寄せられた。

当時の会員数は千名を超えていた。少子高齢化で減少の先がけだった。私は心が通じる情報化で真に魅力のある編集を意識した。そのため『初心に還る』気持で編集に当たることを念じた。部員も地元ボランティア活動で現職並み、湯島通いもそんな熱が伝わった。

寄せられた原稿に丹念に目を通す、地味な仕事に時を忘れる。誤字・脱字・句読点の乱れなど投稿者の立場を尊重、語句の訂正は余程でない限りしない。個性の尊重、体験に弾力的な校正

と編集を心掛けた。

所属した最初の年、有名人と対話形式の話題を載せた。顧問料が高額で会計に迷惑をかけた。会報部員は7名、息が合って忘年会、辞任後も何度か『湯島会』を開いた。一泊二日の湯煙にも浸った。一人先立った訃報で機会が遠のいた。

3年前、かつて勤務した卒業生と担任したクラス会の数名と周年行事で再会、勢いづいて宴席で若返った。会報部も本会の総会・懇親会などに参加して、新旧合同の『湯島会』如何がなものかと思った。

退職して32年、会報部に所属していた頃の会報が残っていた。テレビや対話はその場限りだが文章は後々に残る。懐古だけでなく人生の真価に触れる思いが湧きあがった。

テレビ全盛の今日、科学の飛躍的な発達に反して犯罪が多発言語・文章への認識復活が地球を浄化する。『文は人なり』

心を繋ぎ、絆を深める 会報誌

大木英雄

もう何年も前になる。都退職校長会会報編集員、部長、会報担当副会長として都合六年ほど会報誌作成に携わった。この度、「会報二〇〇号に寄せて」の原稿依頼があり、当時の頃が懐かしく蘇ってきた。

先ず会報の位置づけだ。会報は会員との繋がりを保つ最も大切なものだ。

当時、こんな話が持ち上がった。会員減少で財政逼迫、年四回発行を三回に減らそうではないか。部員も私も猛反対した。「只でさえ、一般会員と退職校長会は疎遠になりがち、会報だけが繋がりを保つ唯一のもの。年四回は堅持すべき」と。当時の会長・役員さんも認めてくださった。原稿依頼も気を遣う。編集方針を定め、会員の情報を収集しつつ原稿依頼をするのだが、すんなりいかないこともある。

る。折角頂戴した原稿も編集の段階で一部修正しなくてはならないこともある。誤字、脱字等の修正は了解を得やすいが、文章に関する訂正は、執筆者に編集の意図、趣旨等を丁寧に話し許可を得なければならぬ。この過程を疎かにして大目玉を食らったことがあった。陳謝して事なきを得たが、執筆者の玉稿は、その人の人格を顕すものである。出来上がった会報は真先に執筆者に礼状を添えて送付した。

毎回バラエティに富んだ編集で読むのが楽しい。私は編集後記を読むのが好きだ。仕事を終えて、一息つけたのだから。人柄が滲み出ている文章が多い。忙しい中、一つのものを創り上げるには英知の結集が必要だ。会報部の皆様に心から感謝している。会報二〇〇号記念おめでとうございます。



会報誌の昔を 振り返る

創刊号



創刊号

目次	
巻頭言	1
意見	1
感想	5
高齢者・消息	7
(77才以上)	
短歌	10
声明書並に申合せ	11
四問題の調査	12
会務報告・後記	13

当時の巻頭言は次のようなものでした。

本会の性格と

今後の在り方

千代田会は東京都の公立学校長の職にあった者の団体で、会員相互の旧交をあたゝめ併せて東京都の教育の振興に寄与することを目的として結成され、現在九百余名の会員を有している。

現職の校長は学校の種別により、夫々小学校長会、中学校長会、高等学校長会を結成し、区市毎にも各種の会合があつて、相互の親睦慶弔等も遺憾なく実施されて居るが、一度其の職を去つた場合は旧交を温める等の機会も乏しくなり、互助慶弔等の事柄も互に忘れ勝ちとなつて、誠に寂寞の感を抱く様になるものである。

千代田会はこれ等の欠陥を補わんがために生れたもので、毎年総会を開いて相互の旧交を温める外、支部毎にも夫々会合を開いて親睦を図ることにして居る。又新に会報を発行して全会員の連絡機関とし、互助、慶弔の規程を設けて、会員中の榮譽者、長寿者等を祝福し、物故者に対しては十分なる弔意を表するように努めて居る。

千代田会は何れも多年東京都の教育に従事して来たもので、本都教育の将来について重大な

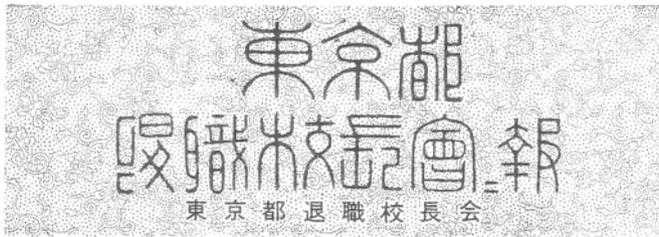
会長 宮内 与三郎

る関心を有する人々であるから、本会は常に本都教育の諸問題について調査、研究を行うと共に、必要に応じて社会的の活動を行い、相協力して其の正常なる発展に寄与せんことを念願するものである。昨年二月の臨時総会に於て教育の正常化に関する声明書を発表し、会員挙つて其の実現に邁進しつつあることも全くこの趣旨に外ならないのである。

現職の校長は勤務の学校によつて小学校長、中学校長、高等学校長の種別があり、出身学校に青山、豊島、地方師範、茗溪、東大、私大等の差別があるが、千代田会はこれ等の種別や差別等を超越して、たゞ東京都公立学校の退職校長であるという単一な条件によつて結成された団体である。従つて今後もこれ等の種別や派閥等に捉われず、渾然一体となり、前述の趣旨に基いて互に懇親の実をあげ、併せて本都教育の振興に貢献したいと思う。茲に本会結成の趣旨を明にし、切に会員諸君の御協力を望む次第である。

会報誌・題字の変遷

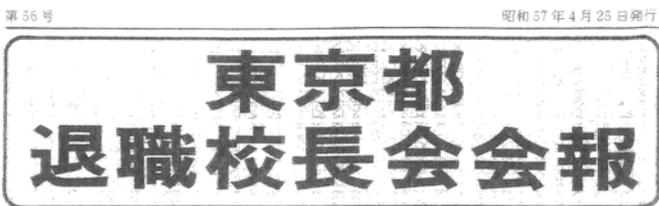
④



第 25 号 (総会特集号)

昭和49年 7月20日発行

⑤



第 56 号

昭和 57 年 4 月 25 日発行

⑥



第 72 号

東京都退職校長会会報

昭和 61 年 4 月 25 日

⑦

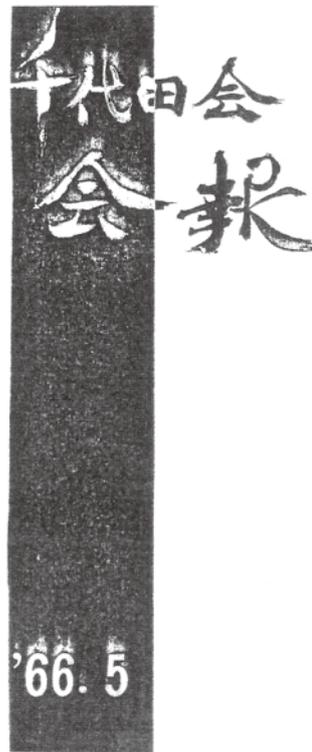


第189号

東京都退職校長会会報

平成27年7月25日

②



①



創刊号

③



第 8 号 / 総会 特集号

昭和42年 7月 1日発行

～題字の変遷～

① 千代田会々報	創刊号	昭和 35 年 5 月 1 日
② 千代田会 会報	7 号	昭和 41 年 5 月 25 日
③ 東京都退職校長会 会報	8 号	昭和 42 年 7 月 1 日
④ 東京都 退職校長会 // 報	25 号	昭和 49 年 7 月 20 日
⑤ 東京都退職校長会会報	56 号 (ゴシック)	昭和 57 年 4 月 25 日
⑥ 東京都退職校長会会報	72 号	昭和 61 年 4 月 25 日
⑦ 東京都退職校長会会報	189 号 (現行)	平成 27 年 7 月 25 日

会報第百号の 巻頭言

会報第百号 発行について想うこと

会長 戸叶直二

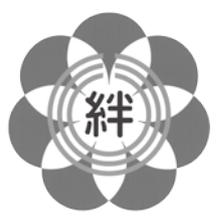
我が東京都退職校長会は本年創立四十年目を迎え会報も記念すべき第百号を発行する運びとなりました。これ一重に先輩各位並びに会員諸氏の御支援御協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。言う迄もなく会報は必要な諸情報を全会員に洩れなくお伝えする使命をもつていますが同時に本会の諸活動に対する理解と協力を得併せて会員相互の融和親交をも促進して会の充実発展に資するよう願っています。会報は又本会に対する会員各位の貴重な意見、希望、所感や随筆詩短歌

俳句等を寄稿発表する大切な場所でもあります。会報部では会員の皆様に楽しく読んでいただける記事をと絶えず協議を重ね想を練り『魅力ある会報』の編集に努力しています。さて本会は昭和三十五年千代田会会報第一号を発行しています。発足して七年目に当ります。その巻頭言の結びの言葉に宮内会長は『千代田会はその会員が東京都公立学校の退職校長であるという簡明単一な条件のもとに結成された団体である。全会員渾然一体となり懇親の実をあげ本都教育の振興に貢献したい』と述べています。折しもこの頃は勤務評定、道徳教育、学力テスト、教育課程の実施反対や安保斗争等も加わって教育界も騒然となっていました。千代田会は教育の正常化を図るため率先して全国道府県退職校長会に呼びかけて全国の連合組織結成を意図、各道府県退職校長会の中核となつて奔走、遂に全国連合退

職校長会結成の大業をなし遂げました。昭和三十年代後半は我が教育界も波乱に満ちていました。時にわが千代田会は結成以来培かれた堅実な伝統を基盤に従来の殻を脱し内外両面に於て大きく発展して一段とスケールを大きくした時期でもあったと思います。先輩諸先生のご活躍に対し心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

昭和四十年全国連合退職校長会結成昭和四十二年千代田会を東京都退職校長会と改名、千代田会会報も当初は年一回の発行でしたがやがて二回、三回となり昭和五十年以降年四回発行が定着してきました。会報は会の顔の一部、一層のご批判ご指導をお願いいたします。本年は創立四十年目記念総会が五月二十四日(月)です。特に新会員の皆様を含め多数一般会員の御参会を切にお願いし挨拶いたします。

平成25年
「60周年」で
会章、会歌制定



東京都退職校長会 会歌

一、光きらめく 都の空に
会員の呼ぶ声 響き合う
子らの幸せ 願いつつ
親しく手を取り 集う時
生き生き人生 我等の心
生きがい込めた 風のにのり
伸びゆく退職校長会

二、長き伝統 支えつつ
楽しく集い 和を広げ
心通わせ 絆を深め
苦楽を共に 研ぎ合う
生き生き人生 学びの心
元気を込めた 風のにのり
伸びゆく退職校長会

三、国の未来を 見すえつつ
新たな教育に 光さす
組織の特徴 生かす時
支援の力 希望を呼ぶ
生き生き人生 奉仕の心
理想を込めた 風のにのり
伸びゆく退職校長会

作詞 塩見晴康(江戸川支部)
作曲 宮下 洋(武蔵野・三鷹支部)

支部だより

人情と活力溢れる支部

江東支部長 森 俊一郎

本支部の会員数は、平成二九年度は一一三名（区内居住四七名、区外居住六六名）である。私が支部長を引き受けた五年前は一三五名いたので、二二名減ったことになる。毎年亡くなる方、退会者が数名いるが、新入会員も一〜三名おり、極端な減少は何とか免れていると思っ

ていたが累積すると大きいものである。また、これまで支部を陰に陽に率先して支えて下さった方々は、九〇代が一四名・八〇代が三六名と高齢化が確実に進んでいる。その先輩方が築かれた伝統の一つに、学校との繋がり、人との繋がりを大事にしていることがある。それから、やるべき仕事はきちんとやり、その後は和気藹々、和やかに過ごすことがあげられる。

以下に支部の業務を記す。
先ず六月の支部総会について

は意義の重要さは認識しているが、準備に追われるのが現実である。事業・会計の資料作成、来賓として区長・教育長・幼小中の園長会長・校長会長への案内、全会員へは案内と併せて会費振込みの依頼、更に支部だよりの発行が重なる。しかし、その後の懇親会で参加者が親しく交歓する様子を見てそれまでの苦労が報われる。

次の事業は、歴史の古い、人氣のある『歩こう会』がある。これまで「永田町から市ヶ谷」



支部総会集合写真 H29.6.25

「飛鳥山公園」「両国」「都庁・都議会」「台場」「東大」「下総中山」…。今年度は、一九名が参加して、「柴又帝釈天」を訪れた。天気にも恵まれ、お参りをした後、寅さん記念館を見学し、爽やかな風に吹かれながら江戸川堤を散歩した。

次に、支部だより作成が十一月の役員会に提案され、半年がかりの奮闘が始まる。中心は「会員の近況や随想」で全体約八〇ページの半分を占める。その他、支部の事業報告や本部との関連、会員の動向、会員名簿、会則等この一冊で支部の様子がわかると思っ

ている。もう一つの特徴は、全て手作りであり、担当者に加え全役員による作業は煩雑な反面、連帯感の醸成に役立っていると思っ

最後に、日常的に、自主的に活動する趣味の会は卓球、囲碁、てくてく、健康麻雀の四つが登録されている。例えば卓球は、月に三、四回スポーツセンターを会場に、十名ほどが参加して行っている。どの会も世話人を中心に活性化に努力している。

心寄せ合い

創意工夫を生かした支部活動

中野支部長 緒方良子

中野支部は、昭和三十七年に会員十五名で発足しました。その後、平成十二年の百八名を最高に現在は二十六名です。

会員数減少は、活動において弱気になることがあります。しかし、五十五年の歴史に学び、『いまを大切に』の姿勢で活動を展開しています。

1. 情報浸透の努力

- ① 総会の葉に年間行事表をつけて各自の参加計画に役立てる。
- ② 総会・新年会等の葉に会員のお便りページをつける。
- ③ 都会報はじめ配布物は、役員の手渡しとして、短時間の会話を大切に

- ④ 会員にとって魅力ある『支部会報』の編集発行

- 2. 参加の喜びがある行事の計画
全員に参加を呼び掛ける行事

計画は、『詳しく』、『明快に』を心がけています。

①美術作品展
44回続く作品展は「美術」という言葉へのこだわりを和らげる案内としました。その結果、44回展は、日頃、会員が身につけたもの、蓄積したものが溢れる作品が並ぶ中に「ペコちゃんコレクション」もありました。出展者十九名。写真・油絵・切り絵・貼り絵・絵手紙・書・コ

平成29年度		事業計画(案)		東京都退職校長会中野支部	
月	日	内 容			
		◇ 年度当初会員数 28名(平成29年4月10日現在)			
4	10月	◇役員会 教育センター 第一期事業計画 行事の年間計画検討 総会諸準備 東京新発見散歩の実施について 【配布】 ◇都会報 196号 ◇全連退会報 203号 ◇全連退年間紀要(平成28年) 支部総会案内			
5	10水	《都本部総会》			
	22月	◇第54回総会及び合同懇親会 なかのZERO 参加者 名 ◇懇親食事会 なかのZEROもみじ茶屋 参加者 名			
6	初旬	【配布】 29年度総会資料 ◇支部会報 NO.40号 【年会費集金】			
	6火	東京新発見散歩 「見て」「さわって」「体験して」 極地を感じてみよう 立川市 南極・北極科学館 国文学研究資料館			

年間事業計画表の一部

レクシヨンの作品41点でした。

②東京新発見散歩
参加者が思い思いのおしゃべりをしながら、見学も、学ぶ散歩も十四年続いています。この三年間は次の所を巡りました。

- 千葉工業大学スカイツリー キャンパス
- 早稲田大学演劇博物館と周辺の美術館・大隈庭園
- 南極・北極科学館 国立文学研究資料館

3.『会報中野』のさらなる充実
平成29年度発行の第40号から、会員全員に405字の情報を見せてもらい、文化部担当者の編集、印刷、製本を手作業です。これまでの内容に、全員の情報が盛り込まれた会報は、まさに、「会員の明るい生き方を広げる博物館」と喜んでいます。

中野支部は、これからも、心寄せ合い、創意工夫を生かしながら力強く進みます。

品川支部の現況と活動

品川支部長 高橋信夫

品川支部、会員数は現在百十九名である。会員の減少が止まらない。年に十名近く減少する。死去・退会(高齢化・施設入所等々)新会員はここ二年無い。支部存続の危機である。このような状況の中でも支部の活動に参加する会員は多く活発である。

品川支部活動の中心は総会後の懇親会と新年祝賀の会である。会員の参加率は会員数の四分の一に近い。座席を一卓四、六名、退職年の近い方を組む等、話し易く親しめる雰囲気作りをしている。

会員による講話や支部特製の歌集での歌声もよい。



また、「会員だより」を極力会員のものとするため年四回発行、内二回を会員の言葉特集号としている。年二回の懇親会出欠ハガキに『現況・趣味・健康法・旅行記・意見・提言等々』について小文を求め、掲載し好評を得ている。会員の投稿率は七割にも及んでいる。

支部主催の「品川旅行会」は、貸し切りバスを利用し年一回、一泊二日。昨年福島

一泊二日。昨年福島県の裏磐梯から五色沼方面の旅であった。十七名参加したが、バスの車中も楽しく、被災地旅行ということで補助もあり助かった。

囲碁クは年二回、歴史見学クは年三回―鎌倉・王子方面・両国界限等、いずれも会終了後の懇親の場を設け和気藹々である。

支部生涯学習部主

催の施設見学会は年二回、今年度は品川にある芝浦食肉市場情報館見学会と区立小学校の見学会である。

昨年十二月区立小山台小学校の英語の授業の一部を参観した。



平成二十年から英語教育に取り組み大学教授を専任講師として通年授業。さらに、六年間研究指定校を受け英語教育を推進した。現在では普通の教師が他の職務をしながら無理なくできる英語教育「持続可能な」英語教育を目指し取り組んでいる。

会員の親睦と生涯学習

日南支部長 馬場 武

会報200号おめでとうござ

います。本年は退職校長会の会則改正など、新たな発展を目指す年である。会員の皆様のますますのご活躍を期待している。

日南支部は日野市・多摩市・稲城市の三市で構成されていていずれも、多摩川南岸沿いと多摩丘陵地帯にあり、史跡が多く風光明媚なところである。

会員は（日野五二・多摩五一・稲城二三）一二十六名で。平成二一年度一七〇名だったが、入会者が少なく高齢化と、年々の会員減少で、活動が困難になってきているのが悩みである。

支部の活動は主として、年二回の会報「日南」の発行と、会員の親睦と生涯学習を中心に行っている。

総会は高幡不動尊信徒会館で行い、総会后、精進料理で会食懇談し、親睦を深めている。

生涯学習は「教育懇談会」と

「見学研修会」を実施している。教育懇談会は教育課題を中心に、見学研修会は多摩地区内にある名所・旧跡・美術館・大学などを訪ね、教養と見識を深めるために、行っている。

二九年度の教育懇談会は「アジアの教育―ネパールの少女に教育を―」『おなご先生一〇〇人の育成プロジェクトを支援して』の演題でネパールの教育現状とおなご先生育成の取り組みについて講師西田敦子先生（梅の実会顧問・日野市教育委員会委員長）に、資料と映像をもとに講演していただいた。

発展途上国の教育の現状を知



り、援助活動を通して、教師の育成が如何に大事かを改めて痛感した。

見学研修会は日野自動車二十一世紀センター内にある「ミュージアムオートプラザ」で行った。

各種の年代の自動車の展示と一九〇〇年からの国内の出来事と関連して自動車の歴史や交通などの写真の紹介。特に年代別の初任給の展示が興味深かった。見学後、昼食懇談会で参加者全員で見学の感想、近況報告をし、和気あいあいの雰囲気でごすことができました。



高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。 計8名（敬称略）

瑞宝双光章

小尾 昭（新宿）
大野 静夫（大田）

飯島 久雄（八王子）
橋詰 義昭（日南）
府川 次男（武・三）

平沼 剛三（狛 江）
佐藤 守也（埼 玉）
佐藤 勝郎（埼 玉）

勲章・褒章制度の概要

①春秋叙勲

毎年二回、春は四月二十九日付で、秋は十一月三日付で授与されています。

候補者（七十歳以上）は栄えに関する有識者の意見を聴取して内閣総理大臣が決定した「春秋叙勲候補者推薦要綱」に基づき各省各庁から推薦されます。教育職関係は文部科学省が所管です。

受章者は一か月から二か月前に決定し、当日は勲章を着用し、配偶者同伴で天皇陛下に拝謁します。

②高齢者叙勲

高齢者叙勲は昭和四十八年六月以降毎月一日付で実施しています。

八十八歳の誕生日の六か月前に本人に各区市町村の教育委員会より連絡があります。もしご心配でしたらお住まいの教育委員会に連絡してみてください。

③死亡叙位・叙勲

勲章の授与の対象となるべき者が死亡した場合には、春秋叙勲とは別に臨時勲章を授与しています。一週間以内に遺族が各市町村教育委員会へ申請します。

なお、詳しくは内閣府のホームページをご参照ください。（パソコンやスマホで検索ができます）

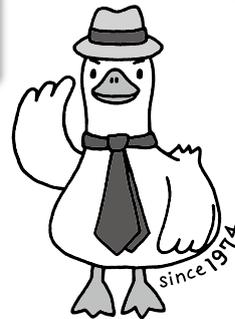
本会の会報には春・秋の叙勲受章者及び高齢者叙勲受章者のご芳名を記載しております。（ただし、高齢者叙勲については各支部経由でご連絡のあった方のみ記載しています）

（文責 福利厚生部 守屋龍男）

新登場

No.1

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 No.1
平成28年版「インシュアランス生命保険統計」



●契約年齢●
0歳～
満85歳
まで

がんをきむ

病気や
ケガの
備えに

ちゃんと応える
医療保険

EVER

心配な
「がん」の
備えに

新 生きるための
がん保険 Days

■募集代理店（アフラックは代理店制度を採用しております）

◎商品およびサービスの詳細は「契約概要」等をご覧ください。

三泉トラスト保険サービス株式会社

☎ 0120-357-212

FAX 03-3233-6754

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック

東京第一法人営業部

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル19階

Tel.03-3344-1446 Fax.03-3348-0565

AF広告課-2017-0005-1705004 1月16日

<同好の仲間と楽しく過ごしませんか>

クラブ紹介

= 入会を歓迎します ご希望の方は委員長までご連絡ください =

囲碁クラブ

- 委員長 佐々木和廣 (電話：090-1999-9047)
- 会場 ナーベル (お茶の水)
- 大会 年2回 (6月、11月)
- 錬成会 毎月第1月曜日 (休日のときは次週) ナーベルお茶の水にて
- 会費 年間1,000円、参加費500円

写真クラブ(T・K・C)

- 委員長 甲野 恵美 (電話：03-3268-7476)
- 撮影会 年8回 (バス1泊撮影会1回を含む)
- 写真展 年2回 (なかのZEROで開催)
- 研究会 年1回講師による講評・自評会等 (作品研究と撮影技術研究)
- 懇親会 写真展のオープニング・パーティー
- 会費 年3,000円



園芸クラブ

- 委員長 天野 正忠 (電話：03-3752-3810)
- 会場 新宿区立環境学習情報センター (エコギャラリー新宿2階)他、見学地
- 活動 春と秋の年間2回の作品交換会
園芸に関する施設の見学会
栽培に関する懇親会や栽培実習の会
- 会合 年間5回
- 会費 年1,000円



釣りクラブ(千代田会釣り部)

- 委員長 藤本 美男 (電話：042-375-0548)
- 釣り場 金沢八景、江ノ島、下田、浦安
- 釣り物 シロギス・アジ・イサキ・ワラサ・イナダ・アマダイ等
- 会合 年7回の釣り例会
- 特別会 年2回の1泊釣り会
- 釣り大会 年1回のアジ釣り大会
- 懇親会 研究・懇談会。新入会員歓迎釣り会
- 会報 年5回発行
- 会費 年2,500円



絵画クラブ(水墨みすみ会)

- 委員長 東條 康永 (電話：048-873-5727)
- 会場 南大塚地域創造館
- 会合 月1回 (8月は休み、春と秋に都内公園等でスケッチ会を実施)
- 学習内容 水墨画・基本技法の学習
- 方法 課題を設けて、作品に取り組む
- 作品展 毎年開催 (新宿エコギャラリー)
- 講師 なし (会員相互の連携による)
- 会費 年8,000円
通信費 年2,000円



短歌クラブ

- 委員長 五味田 稔 (電話：0284-42-0190)
- 会場 東京都退職校長会事務局 (地下鉄千代田線湯島駅下車徒歩5分)
- 会合 原則として、毎月第2金曜日 (8月を除く)
- 方法 短歌二首提出
互評と講師による指導
- 講師 岡崎 洋次郎 先生
- 会費 月1,000円 (必要に応じ)

ソフトテニスクラブ

- 委員長 吉田一夫 (電話：03-3712-3352)
- 会場 杉並区営松ノ木テニス①②コート
① JR高円寺駅南口を出て右へ10m、永福町行きバスに乗車
② 井ノ頭線永福町駅北口を出て井ノ頭通りを渡り左へ10m、高円寺駅行バスに乗車
①、②共に、途中の都立和田堀公園下車、北へ徒歩3分
- 練習日 月数回、練習可 (2か月前に通知)
- 練習 毎回ゲームを中心に行う
- 会費 年2回部内大会 (5・12月)
3,000円 (年間)



湯島の動静

2月

- 5 支部長会③
- 6 業務改善・作業部会
- 7 総務部会
- 8 人材バンク委員会
- 9 福利厚生部会
- 10 《短歌クラブ》
- 11 企画調整部会
- 12 生涯学習部会
- 13 企画委員会⑪
- 14 会計部会
- 15 正副会長会⑫
- 16 人材バンク委員会
- 17 会報部会

3月

- 5 福利厚生部会
- 6 業務改善・作業部会
- 7 会報部会
- 8 《短歌クラブ》
- 9 生涯学習部会
- 10 企画委員会⑫
- 11 企画調整部会
- 12 会計部会
- 13 会報部会

4月

- 26 総務部会
- 27 企画委員会⑬
- 28 総務部会

5月

- 23 福利厚生部会
- 24 企画委員会②
- 25 関東プロ準備委員会
- 26 会計部会
- 27 正副会長会①
- 28 人材バンク委員会
- 29 業務改善・作業部会
- 30 企画調整部会
- 31 評議員会
- 1 監査会
- 2 企画委員会①
- 3 総務部会
- 4 生涯学習部会
- 5 福利厚生部会
- 6 支部長会④
- 7 関プロ実行委員会
- 8 2 関プロ実行委員会
- 9 3 支部長会④
- 10 4 福利厚生部会
- 11 5 生涯学習部会
- 12 6 総務部会
- 13 7 企画委員会①
- 14 8 監査会
- 15 9 企画委員会①
- 16 10 総務部会
- 17 11 生涯学習部会
- 18 12 福利厚生部会
- 19 13 支部長会④
- 20 14 関プロ実行委員会
- 21 15 2 関プロ実行委員会
- 22 16 3 支部長会④
- 23 17 4 福利厚生部会
- 24 18 5 生涯学習部会
- 25 19 6 総務部会
- 26 20 7 企画委員会①
- 27 21 監査会
- 28 22 企画委員会①
- 29 23 総務部会
- 30 24 生涯学習部会
- 31 25 福利厚生部会
- 1 26 支部長会④
- 2 27 関プロ実行委員会
- 3 28 2 関プロ実行委員会
- 4 29 3 支部長会④
- 5 30 4 福利厚生部会
- 6 31 5 生涯学習部会
- 7 1 6 総務部会
- 8 2 7 企画委員会①
- 9 3 8 監査会
- 10 4 9 企画委員会①
- 11 5 10 総務部会
- 12 6 11 生涯学習部会
- 13 7 12 福利厚生部会
- 14 8 13 支部長会④
- 15 9 14 関プロ実行委員会
- 16 10 15 2 関プロ実行委員会
- 17 11 16 3 支部長会④
- 18 12 17 4 福利厚生部会
- 19 13 18 5 生涯学習部会
- 20 14 19 6 総務部会
- 21 15 20 7 企画委員会①
- 22 16 21 監査会
- 23 17 22 企画委員会①
- 24 18 23 総務部会
- 25 19 24 生涯学習部会
- 26 20 25 福利厚生部会
- 27 21 26 支部長会④
- 28 22 27 関プロ実行委員会
- 29 23 28 2 関プロ実行委員会
- 30 24 29 3 支部長会④
- 31 25 30 4 福利厚生部会
- 1 26 31 5 生涯学習部会
- 2 27 1 6 総務部会
- 3 28 2 7 企画委員会①
- 4 29 3 8 監査会
- 5 30 4 9 企画委員会①
- 6 31 5 10 総務部会
- 7 1 6 11 生涯学習部会
- 8 2 7 12 福利厚生部会
- 9 3 8 13 支部長会④
- 10 4 9 14 関プロ実行委員会
- 11 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 12 6 11 16 3 支部長会④
- 13 7 12 17 4 福利厚生部会
- 14 8 13 18 5 生涯学習部会
- 15 9 14 19 6 総務部会
- 16 10 15 20 7 企画委員会①
- 17 11 16 21 監査会
- 18 12 17 22 企画委員会①
- 19 13 18 23 総務部会
- 20 14 19 24 生涯学習部会
- 21 15 20 25 福利厚生部会
- 22 16 21 26 支部長会④
- 23 17 22 27 関プロ実行委員会
- 24 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 25 19 24 29 3 支部長会④
- 26 20 25 30 4 福利厚生部会
- 27 21 26 31 5 生涯学習部会
- 28 22 27 1 6 総務部会
- 29 23 28 2 7 企画委員会①
- 30 24 29 3 8 監査会
- 31 25 30 4 9 企画委員会①
- 1 26 31 5 10 総務部会
- 2 27 1 6 11 生涯学習部会
- 3 28 2 7 12 福利厚生部会
- 4 29 3 8 13 支部長会④
- 5 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 6 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 7 1 6 11 16 3 支部長会④
- 8 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 9 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 10 4 9 14 19 6 総務部会
- 11 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 12 6 11 16 21 監査会
- 13 7 12 17 22 企画委員会①
- 14 8 13 18 23 総務部会
- 15 9 14 19 24 生涯学習部会
- 16 10 15 20 25 福利厚生部会
- 17 11 16 21 26 支部長会④
- 18 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 19 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 20 14 19 24 29 3 支部長会④
- 21 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 22 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 23 17 22 27 1 6 総務部会
- 24 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 25 19 24 29 3 8 監査会
- 26 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 27 21 26 31 5 10 総務部会
- 28 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 29 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 30 24 29 3 8 13 支部長会④
- 31 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 1 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 2 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 3 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 4 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 5 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 6 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 7 1 6 11 16 21 監査会
- 8 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 9 3 8 13 18 23 総務部会
- 10 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 11 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 12 6 11 16 21 26 支部長会④
- 13 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 14 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 15 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 16 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 17 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 18 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 19 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 20 14 19 24 29 3 8 監査会
- 21 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 22 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 23 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 24 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 25 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 26 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 27 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 28 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 29 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 30 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 31 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 1 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 2 27 1 6 11 16 21 監査会
- 3 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 4 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 5 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 6 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 7 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 8 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 9 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 10 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 11 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 12 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 13 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 14 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 15 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 16 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 17 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 18 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 19 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 20 14 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 21 15 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 22 16 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 23 17 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 24 18 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 25 19 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 26 20 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 27 21 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 28 22 27 1 6 11 16 21 監査会
- 29 23 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 30 24 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 31 25 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 1 26 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 2 27 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 3 28 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 4 29 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 5 30 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 6 31 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 7 1 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 8 2 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 9 3 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 10 4 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 11 5 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 12 6 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 13 7 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 14 8 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 15 9 14 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 16 10 15 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 17 11 16 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 18 12 17 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 19 13 18 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 20 14 19 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 21 15 20 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 22 16 21 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 23 17 22 27 1 6 11 16 21 監査会
- 24 18 23 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 25 19 24 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 26 20 25 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 27 21 26 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 28 22 27 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 29 23 28 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 30 24 29 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 31 25 30 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 1 26 31 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 2 27 1 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 3 28 2 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 4 29 3 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 5 30 4 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 6 31 5 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 7 1 6 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 8 2 7 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 9 3 8 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 10 4 9 14 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 11 5 10 15 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 12 6 11 16 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 13 7 12 17 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 14 8 13 18 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 15 9 14 19 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 16 10 15 20 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 17 11 16 21 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 18 12 17 22 27 1 6 11 16 21 監査会
- 19 13 18 23 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 20 14 19 24 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 21 15 20 25 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 22 16 21 26 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 23 17 22 27 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 24 18 23 28 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 25 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 26 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 27 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 28 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 29 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 30 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 31 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 1 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 2 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 3 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 4 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 5 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 6 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 7 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 8 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 9 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 10 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 11 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 12 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 13 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 監査会
- 14 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 15 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 16 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 17 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 18 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 19 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 20 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 21 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 22 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 23 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 24 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 25 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 26 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 27 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 28 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 29 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 30 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 31 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 1 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 2 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 3 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 4 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 5 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 6 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 7 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 8 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 監査会
- 9 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 10 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 11 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 12 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 13 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 14 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 15 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 16 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 17 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 18 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 19 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 20 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 21 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 22 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 23 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 24 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 25 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 26 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 27 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 28 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 29 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 30 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 31 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 1 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 2 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 3 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 監査会
- 4 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 5 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 6 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 7 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 8 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 9 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 10 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 11 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 12 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 13 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 14 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 15 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 16 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 17 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 18 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 19 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 20 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部会
- 21 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 支部長会④
- 22 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 関プロ実行委員会
- 23 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 2 関プロ実行委員会
- 24 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 3 支部長会④
- 25 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 4 福利厚生部会
- 26 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 5 生涯学習部会
- 27 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 6 総務部会
- 28 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 7 企画委員会①
- 29 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 監査会
- 30 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 企画委員会①
- 31 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 総務部会
- 1 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 生涯学習部会
- 2 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 福利厚生部会
- 3 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 支部長会④
- 4 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 関プロ実行委員会
- 5 30 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 関プロ実行委員会
- 6 31 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 支部長会④
- 7 1 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 福利厚生部会
- 8 2 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 生涯学習部会
- 9 3 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 総務部会
- 10 4 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 企画委員会①
- 11 5 10 15 20 25 30 4 9 14 19 24 29 3 8 監査会
- 12 6 11 16 21 26 31 5 10 15 20 25 30 4 9 企画委員会①
- 13 7 12 17 22 27 1 6 11 16 21 26 31 5 10 総務部会
- 14 8 13 18 23 28 2 7 12 17 22 27 1 6 11 生涯学習部会
- 15 9 14 19 24 29 3 8 13 18 23 28 2 7 12 福利厚生部

(平成30年3月7日届出現在)

氏名	年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
勝野 良臣	29・12・26	千葉北	中	88	91
鈴木 一男	29・12・24	北多摩西	小	89	74
古川 明毅	29・12・24	北多摩中	小	85	66
齋藤 精	29・12・17	八王子	中	91	46
鎌田 勝男	29・12・17	埼玉	小	82	97
原嶋 弘	29・12・10	西多摩	中	85	76
栗原 瞳	29・12・2	西多摩	小	82	79
白井 鉄兵	29・11・7	八王子	小	82	43
加藤 玉枝	29・9・30	埼玉	小	96	94
谷川 和彦	30・3・3	墨田	小	87	5
直田 友之	30・2・11	中野	小	87	20
高橋 弘文	30・2・8	世田谷	中	90	14
笹野 俊彦	30・2・5	品川	小	97	7
小野 忠	30・2・3	杉並	小	85	22
青木 幸子	30・1・23	北多摩西	小	88	72
藤田 敏雄	30・1・20	世田谷	養	95	15
齋藤 依男	30・1・16	杉並	小	80	20
榎部 浄義	30・1・9	杉並	高	93	23
大 都 操	30・1・6	葛飾	小	89	40
宇津野 徹	30・1・1	埼玉	小	88	98
柴崎 和夫	29・12・29	板橋	中	90	28

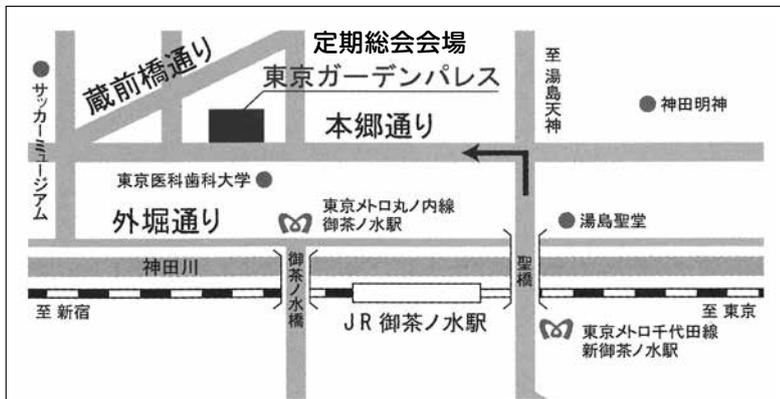
物故者

謹んでご逝去を悼み
ご冥福をお祈り申し上げます



定期総会・研修会案内図

〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5
TEL 03-3813-6211 代表



東京カーテンパレス

- JR 中央線・総武線「御茶ノ水駅」
聖橋口（東京駅寄りの改札）より
徒歩5分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」
より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より
徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「末広町駅」より
徒歩8分

編集後記

東京都退職校長会は発足当初、千代田城下を意味する「千代田会」と称されました。昭和三十五年に創刊された「千代田会々報」の巻頭言には「会員相互の旧交を温め、併せて東京の教育の振興に寄与する」と、目的が明記されています。昭和四十二年に「東京都退職校長会」と改称された後も、この目的の基に発刊を重ね、会報誌は二百号を迎えました。

合本保存された会報誌を紐解くと、創刊を企図した経緯、会員の歓迎の声、年間四回発行への移行等を知ることができます。歴代会長・会報部長の「二百号記念特集」の寄稿文にも、会報誌に対する熱い思いを感じました。

正に「先人木を植えて、後人涼を得る」の感があります。これを機に原点に立ち戻り、皆様に愛される会報誌づくりに努めてまいります。

(角田美枝子)